

12月の県内景況は、前月よりやや悪化した。 暖冬が多く、業界にマイナスの影響を 及ぼした。

情報連絡員による平成27年12月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は16.7%（前月比-1.6）となっており、「横這い」は40.0%（同±0）、「低調」とするところが43.3%（同+1.6）、業界全体の「景況感DI」は-26.7（同+3.4）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「在庫数量」「取引条件」「雇用人員」の項目が前月と比較して悪化しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、繊維製品製造業、サービス業及び建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、その他製造業、卸売業、小売業は「曇り」、商店街、運輸業は「雨」または「大雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が13.3%（前月比-5.0）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答8件）（製造業2、非製造業6）。また、変わらないが、46.7%（前月比-15.0）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、40.0%（前月比+20.0）と増加しております。

平成27年12月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	57.14	-42.86	0.00	14.29	0.00	14.29	0.00	-28.57	14.29	-57.14	14.29	-28.57
繊維製品製造	0.00	33.33	0.00	33.33	0.00	66.67	33.33	33.33	0.00	0.00	33.33	33.33
木材木製品製造	-25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	-50.00	25.00	-50.00	-25.00	0.00	0.00	-25.00
鉄工機械製造	-40.00	-20.00	0.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-40.00	-20.00	-20.00
その他の製造	-28.57	0.00	0.00	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-28.57	-14.29	-28.57	-28.57
卸売業	25.00	0.00	0.00	0.00	-50.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00
小売業	33.33	-22.22	0.00	11.11	-22.22	-11.11	-11.11	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-22.22
商店街	16.67	-50.00	-33.33	-16.67	-16.67	-66.67	-16.67	-33.33	0.00	0.00	0.00	-33.33
サービス業	57.14	14.29	28.57	14.29	28.57	14.29	0.00	14.29	-14.29	14.29	14.29	14.29
建設業	-20.00	0.00	0.00	20.00	-20.00	20.00	0.00	20.00	-20.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	66.67	-66.67	0.00	33.33	33.33	0.00	0.00	0.00	0.00	-66.67	0.00	-66.67

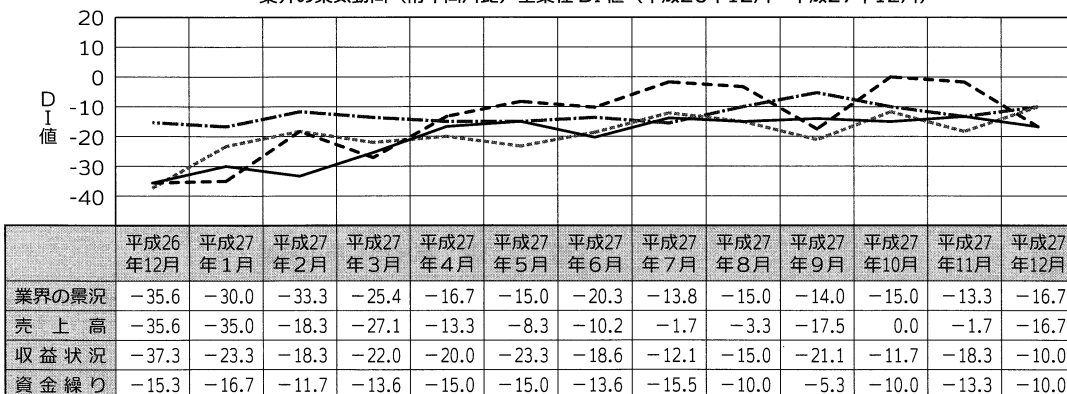
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成26年12月~平成27年12月）



食料品製造業

<漬物>

生野菜が安く、漬物の売上が良くない。各企業とも収益面で悪化しているようだ。

<味噌醤油>

12月の味噌醤油の出荷量は、上旬から中旬にかけて順調であったが、中旬以降の数量が伸び悩み、昨年並みの状況。取引先の回復も思うようにならず、風評は根強く続いている。円安の影響で、海外依存の原料はややピークを過ぎた感もあるが依然として高騰傾向にあり、製造コストでの影響は厳しい。

<菓子>

年末年始の繁忙期で、他の月より売上など増加するものの、前年比はマイナスとなっている。今月はボイラーの更新があり手持ち資金が減少している。設備の故障や整備不良で製造をストップさせる訳にはいかないので、苦しいながらも責任は果たせるようにしている。

<酒造>

前月同様、吟醸酒を中心に販売を伸ばしている。今年の原料米は量は豊富だが、質が悪い。米が溶けやすいため、仕込みに技術が必要である。

<食品団地>

消費動向に大きな変化はないが、年末・年始等に向け生産量が上がった。原油価格は若干下がっているが、原料等の価格高騰は続いているため各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

春物の生産に入っているが、思わしくない状況で今後が心配である。

木材・木製品製造業

<製材業>

丸太（原木）は順調に材出していることから、全体的に価格が多少下落してきている。一方、木材需要は、避難解除地域向けの住宅改修需要などはあるが、新築住宅需要は少ないことから、地場工務店は受注に苦戦しており、したがって木材製品の需要がのびてこない。

<外材輸入>

年末にきて、プレカット稼働率のアップ等明るい話もあるが、一年を通じて製材品の荷動き、価格動向は低迷した状況が続いており、静かな年の瀬となっている。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

業界を取り巻く環境は、日々厳しさを増している。県内各地にお土産として有名なお菓子があり、菓子屋に多数の貼箱業者が商品を提供している。もし菓子屋がなくなれば、貼箱業者も2割近くなくなるとも言われている。貼箱は菓子を入れた際の見栄えや、手に取ったときの感触が独特で、贈答用には貼箱が最適だと思う。「お世話になった人への想いを大切にす文化」に支えられていると感じつつ、業界あげて頑張っていきたい。

印刷業

<印刷>

震災以降の12月としては、各社とも受注や機械の稼働も低調であり、厳しい年末であったようだ。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

昨年と比べ、暖かく客の入込数が多い。

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約8%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約26%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約20%の増
4. 原因・状況 先月に引き続き、除染関連工事と生コン工場への出荷が多かった。

<生コン>

平成27年12月の組合員生コン出荷数量は、182,390m³と対前年同月比4.6%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比1.3%の減、官公需が14.9%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 1.3%の減

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 13.1%の増

大原総合病院建築、仲間町集合住宅新築工事等

<白河地区> 16.5%の増

三菱ガス化学工場新築工事等

② 対前年同月比減少地区

<県中地区> 9.6%の減

寿泉堂香久山病院建築、工場、事務所工事等

<いわき地区> 3.4%の減

工場、物流センター、マンション新築工事等

<相双地区> 9.2%の減

物流センター建設、原発保安対策工事等

<会津地区> 7.5%の減

会津オリンパス建設工事等

■官公需の動向

対前年同月比 14.9%の増

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 17.9%の増

霊山・庄司淵・腰巡トンネル、医療科学センター棟新築工事等

<いわき地区> 24.7%の増

港湾災害復旧、小名浜東港関連工事等

<相双地区> 24.4%の増

八木沢、円淵トンネル、減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

<会津地区> 8.5%の増

滝沢浄水場工事、橋梁工事等

② 対前年同月比減少地区

<県中地区> 23.4%の減

復興公営住宅、医療機器安全評価センター建築工事等

<白河地区> 8.9%の減

白河市民文化会館、石川町役場、矢祭小学校建設工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

(県中地区)

先の仕事量は見ているが、今は少し落ち着いている。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高が前月比30%減となり、先月に続く低調な取引となっている。前年同月比においても11%の減に転じた。累計では前年比8%増となるものの、3ヶ月連続での売上高減少と先行きの工事案件簿が心配である。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

暖冬の影響で季節商品の売上が芳しくなかった。年末商戦においては、例年と比べ目立った動きはなかった。石油製品(ガソリン等)に関しては、相変わらず郡山地区での競争が激しく、粗利がとれていない。建築資材関連では、復興需要が落ち着いてきたとの声が聞かれ始めている。

<再生資源>

鉄スクラップの状況は、輸出が上向きの様相はあったが、ここに来て原油安、円高傾向から今後、低調に推移していくと思われる。12月の古紙の回収量はやや上向いたが、季節指数の上昇という事もあるが、今後の推移に期待したい。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

年末商戦、初売りの準備が例年と異なり、購買予測できずに整わなかった。福袋の準備も例年の20%程度に終わる。また、顧客の購買状況も必要なもの以外購入しない姿勢が顕著に表れていた。

(県中地区のNショッピングセンター)

売上の伸びが悪い分、仕入単価の高騰などによる粗利確保が難しくなっている。

<石油>

元売仕切が値下げとなる中、小売価格はそれ以上に大幅値下がりとなった。県内のガソリン平均価格も126円程度で前年同月比-30円となっている。また、灯油については暖冬の影響から需要の減となり、厳しい経営が続いている。

<食肉>

牛枝肉、豚も高値のまま、販売価格値上げ出来ず、収益が悪化している。

<青果>

年末にかけ例年ならば取扱が少し増加するが、今年は暖冬のせいか野菜の単価は安く品薄だった。ただ、果物の単価は昨年と比べ高騰した。年末年始も量販店が営業している為、消費者の動きは鈍かった。来月にかけ暖冬が続けば、今後も野菜の単価に影響するものとみる。

<電機>

全体的にあまりよくない。エルニーニョの影響で、暖冬気味で暖房器の動きが良くない。

商店街

<福島市>

時代の変化と言ってしまうとそれまでなのだが、クリスマス・年末・大晦日といった雰囲気を感じられない。郊外の状況は知らないが、街なかについては特有のせわしさ・賑やかさが失われている。忘年会の賑わいも、毎日がそうではなく週末に集中しており、平日においては至って静かな街であった。また、正月元日営業のせいで、大晦日は休みの店・早じまいの店が増加し、静かなというより寂しい大晦日となっている。

<郡山市>

12月は、11月に心配していた伸び悩みがそのまま続いたような感じ。特に冬物衣料が暖冬の影響なのか苦戦を強いられているようだ。このままでは、今後の冬物セールの見通しも厳しいものがある。何か起爆剤

があればいいのだが、なかなか見つからず、具体的な施策がたてられないのが現状。

<南相馬市>

年末の繁忙期を迎え、恒例行事となった売出しのスピードくじを実施、お客様も年の瀬を感じているようだ。しかし残念ながら、人通りはまばら。

<会津若松市>

暖冬の影響で冬物の動きが悪く売り上げが伸びなかった。商店街での歳末企画はお客様に好評だったようだ。

<いわき市>

暖かい日が続く、街を歩くお客様は例年よりも多く感じる。有名な宝くじ売り場も長い行列ができ、車の渋滞も多く見られた。飲食関連は昼の需要も多く好調、ファッション関連は冬物重衣料の不振で厳しい様子。忘年会シーズンには飲食店の忙しさと昼の物販店の不振さと明暗くつきり。郊外店は年内セールの打ち出しで商店街はダブルパンチ。暖かさが恨めしい12月であった。

サービス業

<旅館業>

(いわき湯本温泉)

年末にかけて多少忘年会などを兼ねた宿泊客があったため、前月比で増加した。

(土湯温泉)

暖冬により観光客の動きは例年より良かったように感じる。宿泊も年末から満室状態が続いており、プレミアム旅行券の効果があるかもしれない。

<理容業>

雪も降らず、比較的暖かく天候にも恵まれてよかった。雪が降ったり、急に寒くなると極端に客足は鈍る。県内どの地域もまずまずのようだとの連絡だった。寒さや乾燥による肌荒れ予防のエステシェーブや手入れの楽なヘアスタイルを提案し取り組んでいるが、今は昔と違い喜べだから髪を切ってさっぱりして新年を迎える、という習慣は年々薄れてきている。その分自分の生活に合わせて常にきれいにしているからだろう。

<廃棄物収集運搬業>

通常業務については年末ということもあり前月より若干増加した。また、震災関連事業が10月からスタートした。当初より業務量が増加の予定。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、当該事業として苦戦している状況。雇用の安定化を図っているが南相馬以南の除染業務に人員を取られる状況がみられるようだ。一般の事業では太刀打ちできない金額の提示で短期間の業務でもと転職していく。対策に苦慮している。

建設業

<建設業>

(県南地区)

除染業務は新たな発注は道路除染などで、住宅除染は作業が完了した地区が多くなってきており、計画の8割弱が年内に完了見込みとなっている。一般の土木工事は減少している。建築工事は民間の工場、店舗などの発注があるが、一般住宅の着工は減少している。

<管工事>

給水・排水設備申請は前月比及び前年同月比累計対比で減少している。

<専門工事>

地球温暖化に伴う異常気象と言えば全て済むわけで

はないが、全く積雪のない年末となった。四季の季節感に伴う仕事があって当たり前の地域なので、積雪のない状態では、仕事はかどると言った都合の良いことばかりではなく、様々な不都合が発生するばかりではなく、どこかで一気に積雪に見舞われるといった突発的なトラブルが発生することが懸念される。特に急な豪雪には近年対処が遅れ気味なので、注意が必要と思われる。また、除染等の復興事業は年度内に終了する事業が多いので、人材の流出や仕事の取り合い等や、いまだに地域事情が分かっていない業者も流入し続けているので、注意が必要と思われる。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

12月は燃料価格が低下したため経費削減となり、受注面についても横ばいながら概ね安定推移した月であった。会員の中には、年度当初から運転手募集をしているが応募がなく困窮している先もある。

(県中地区)

売上は前年同月より減少したが、燃料価格の低下の影響で収益状況は好転した。

<ハイヤータクシー>

前月比微増となったものの、まだまだの状況。天候がよいことも影響している。

県政トピックス

2016. 2

福島県プロフェッショナル人材戦略拠点の開設 ～プロフェッショナル人材採用で「攻めの経営」へ～

地域の経営者側へ働きかけ、新たな経営戦略の実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用を支援する福島県プロフェッショナル人材戦略拠点を開設しました。

開設日：平成28年1月27日

場 所：コラッセふくしま7階（福島市三河南町1-20）
TEL 024-525-4091 Fax 024-525-4096
E-mail projinzai@f-open.or.jp

時 間：月曜日～金曜日（祝日を除く）9：00～17：00

体 制：マネージャー 上遠野 和則（H16～福島県企業誘致アドバイザー）、
サブマネージャー 磯 明夫、アシスタント1名

業務内容

- 1 地域金融機関や地元経済団体等と連携した、県内企業のプロフェッショナル人材に関する相談、ニーズの把握、コーディネート
- 2 民間人材ビジネス事業者と連携した、大都市圏等の人材の掘り起こし、人材マッチングの支援
- 3 関係機関等と連携した、経営者・求職者双方に対するフォローアップ
- 4 事業遂行に必要な各種情報の収集整理と発信、セミナーの開催
- 5 民間ビジネス事業者の募集・登録 等

相談内容

意欲ある県内の中小企業等の経営者、役員など経営の中心となる方々が抱える様々な課題に対して、人材面を中心に、相談に応じます。お気軽にご連絡ください。

【相談例：下記のようなことが考えられます】

製造力の強化	少量多品種生産ラインの工程効率化、リードタイムの短縮、技術伝承等による生産性の向上
新技術の開発	自社のコア技術を活かし、周辺分野への応用の技術革新
販路拡大	新製品開発等による新事業展開や市場開拓を推進

※知り得た企業様の機密情報は守秘義務を遵守しますので、安心してご相談ください。